

2012年度冬学期 大学院（総合法政専攻・公共政策専攻）演習

担当教員：中山 洋平

題目：西ヨーロッパ比較政治文献講読／西欧比較政治論
：現代政党政治の位相

備考：学部と合併 火曜 5 限・B4 演習室

初回・10月9日は必ず出席のこと（どうしてもやむを得ず欠席の場合は、メール y-naka@j.u-tokyo.ac.jp で必ず連絡すること）

概要と教材

議員ら職業政治家が選挙や政権戦略だけで離合集散を繰り返す中、日本の有権者は政党に対して疎外感を募らせ、デモ・抗議活動、ネットでの言論空間やネットワークなど、代替的な政治参加の手段を模索しているようにも見える。

かつて日本より強固な組織的・社会的基盤を持っていた西ヨーロッパの政党もこうした傾向を決して免れてはいない。代議制民主主義を取る限り、何らかの政党／政党システムは不可欠であるとしても、その位置付けは政党が新しい状況にどれだけ適応できるかによって、大きく変わってくるだろう。

今年のゼミでは、こうした思索に資するべく、現代西ヨーロッパ諸国において、政党／政党システムがどのように変貌しつつあるかを、選挙（＝有権者との関係）と党組織の両面から概観しつつ、抗議や言論空間などの代替的な参加手段との相互作用についても考察したい。

主として下記の2冊を輪読するが、参加者次第で、和書や他の文献（抗議活動の分析など）を追加する。

Emile Van Haute (ed.), *Party Membership in Europe : Exploration into the Anthills of Party Politics*, Éditions de l'Université de Bruxelles, 2011

Hanspeter Kriesi et al., *Political Conflict in Western Europe*, Cambridge University Press, 2012.

定められた回数 of 報告を行うほか、毎回のゼミへの出席と議論への参加が単位履修・成績評価の要件である。なお、ゼミは毎回、時間延長が見込まれるので、毎週、午後7時過ぎまでは予定を確実に空けておくこと。

参加希望者は、10月3日までに担当教員あてにメールでその旨、意思表示をすることが望ましい。その際、自分の研究テーマなども書き添えて頂ければ便宜である。